

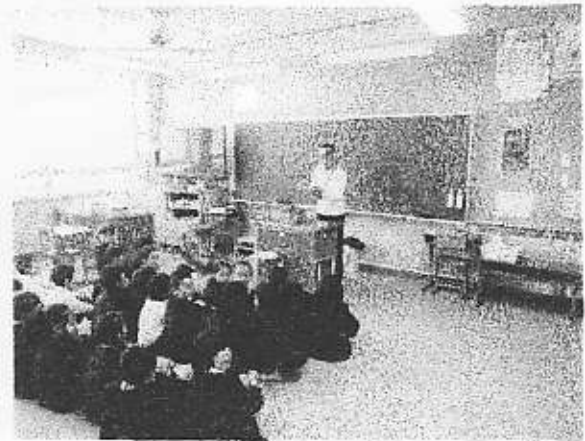
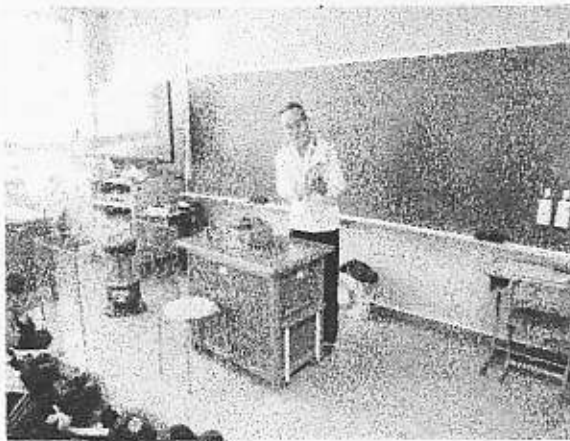


教室日記<こころの天気図>発行・音田輝元
<何ができるか>ではなく、<何をするか>の発想で！

たのしいプランで地域の子ども達へ
多様な活動にチャレンジです！

■菅井さんの実践報告！

「私が先生になったら」ではなく、もう<先生>やっています！



★昨日、堺市立錦西小学校の 2年2組の「よみきかせ」に参加して来ました。毎週、1回ボランティア・グループ<よみきかせ亭>が実施しているのですが交じってチャレンジしてみました。私の場合は、読み聞かせと言うよりも「読み語り」と称して風呂敷包み他、用意して準備万端で、20分間取り組みました。聞く姿勢もできている子供達で、キラキラした目で興味深く静かに聞き入ってくれました。音田先生の受け売りにしか過ぎませんが・・・箱からオニヤンマが飛び出した時の「オーッ」という歓声は圧巻でした。やったーと感じました。★休み時間は おもちゃづくりをしたり、科学マジックをしたり、給食を頂いて帰って参りました。★こんな楽しい小学生たちとの体験はめったにできるものではないと私自身が1番喜び感動している次第です。校長先生がスマホで動画まで撮って下さいましたがその1コマをお届けします。★班長の高松さんが、現役時代に教鞭を執っていた学校とのお話を訊きましたのでCCさせて頂きました。子ども教室も、続けていきたいものだとつくづく感じております。取り急ぎご報告まで。 感謝 <菅井 孝二> 2013年12月4日メールにて

●普段から地域の小学校へ関わり続けている菅井さんの実践です。これから土曜授業再開が広まるにつれて、「ボランティア先生の登場」ますます増えてくでしょう。ぜひ<SA・子ども教室>の皆さんが<先生>になって、「たのしい授業をプレゼントしてほしい！」と思います。

■麦倉さんの実践報告

12月7日、11月の〈ドライアイスで遊ぼう〉に続いて、「麦倉イベント（会場・高砂市青年の家）」が実施されました。〈ドライアイスで遊ぼう〉より、授業運営は難しい〈水の表面〉の研究」という〈科学教室授業プラン〉（音田編集）での実践です。私は、久しぶりの実験アシスタントとして麦倉イベントに参加することができました。実験アシスタントはどうも失格のようですが、「授業を実践的に参観できたことはシメタ！」でした。



たのしい雰囲気麦倉イベント！

●今日は遠い高砂まで来て頂いてありがとうございました。反省点はいっぱいありますが、「水分子くんががんばっているんだな！」と、伝えなかった要点をしっかりと感じ取れているお子さんが結構いて、評価4・5のお子さんがほとんどでした。目標はかなり達成できたかなと思います。（1が2人いましたが。）

●反省点・・・時間がなくなって、後半あわてた。問題2（水を山盛りにできるか）あたりの実験からどんどん楽しくなるので、そこに時間をかける。その前の《アルキメデスさん》は、ごく簡単に。問題1（ガラスコップとプラコップの違い）ももっとさらっとでもいいかと思っています。・洗剤は100円ショップのでなく、普通のを買って、試実験しておく。・15分前には来ておくようお願いする。●準備万端のはずが、結構準備段階からパタパタして、本当にお世話になりました！遅くなってからでももの作りもしていただき、子どもたちも満足そうに帰っていったようです。

本当にどうもありがとうございました。（麦倉みゆき）

★私が編集したプランで実験している麦倉さんに感動です。〈水の表面〉の実験は、久しぶりだと聞きます。もちろん退職して初めての〈水の表面〉。それであれだけの準備と授業！素晴らしいですね！感動です。★退職しても、「子ども達にたのしい科学の世界を伝える活動をする！」思っけていてもなかなかできるものではありません。それを実践している麦倉さん！これからもできる限り応援したいと思います。反省点は今後の課題として共同研究してゆきましょう。ありがとうございました。（音田）